



「どうぞのいす」

～3歳児 はな組 生活発表会「劇遊び」までの保育の過程～

いろいろな活動をしてきた中で、一番楽しそうだったのが動物になって遊ぶことでした。そこで、好きな動物が出てくるお話で劇遊びをしたいと考えました。運動会や作品展などの行事を経て、友達と遊ぶことが楽しくなっているはな組。普段の生活からも「いれて」「いいよ」など言葉のやり取りをしている姿から、「どうぞのいす」のお話がぴったりではないかと思い、絵本を読みました。すると、出てくる動物や椅子の上に置くごちそうが変わるごとに目をキラキラさせて驚いていました。2回目に読んだ時には、次は「ロバさん」と出てくる動物を覚えていて、一緒にお話の世界で話していました。

劇遊びでは、子どもたちと一緒に考えたかわいいダンスや「どうぞのいす」ならではの言葉のやり取りがあります。かわいい子どもたちの姿を楽しみにしてくださいね。

お話の世界を楽しむ



絵本やパネルシアターでのお話との出会い

「どうぞのいす」との出会い



はなぐみに
どうぞのいすが
やってきた！！



はな組にとっては初めての生活発表会なので、絵本やペープサートを見た後は、出てくる動物になって遊んだり、「どうぞ」と友達へプレゼントを運ぶふれあい遊びをしたりとお話に興味をもてるように遊びました。



言葉の面白さに気付く

出てくる動物になりきる



表現することが楽しいと感じる



ウサギになるよ！
ジャンプするねん

ふれあい遊び「どうぞ」



友達と一緒に遊ぶことを楽しむ

どうぞ♡

自分なりの表現をする



友達の思いや考えを知る



どんぐりを
いただきます
むしゃむしゃむしゃ



ダンスの振付を考える

大道具をつくる



ちょっとおひるね

たのしい～もういっかい
おどりたい

お面をつくる



こうしたら??
やってみよう！

衣装をつくる



友達と一緒に作ることを楽しむ

小道具をつくる



やってみよう



はな組にとって、大勢の前での表現はドキドキがいっぱいです。どうぞ、温かく見守ってあげてくださいね。